

「渋沢フィルム」の景観分析とその課題

— 朝鮮半島多島海を事例として —

浜田 弘明

HAMADA Hiroaki

(COE 教員)

はじめに

神奈川県立日本常民文化研究所には、通称「渋沢フィルム」と呼ばれる、1930年代の景観や生活を記録した写真や映像が所蔵されている。これらは、財界人としても知られる民俗学者・渋沢敬三とその同人によって、今から約70年前の昭和初期（1930年代）に撮影されたもので、そのうち写真資料は約4000点にのぼる。撮影地域は日本国内に止まらず、中国南部・台湾・朝鮮半島にまで及び、写真は118冊のアルバムに収められている。しかしながら、これまで「渋沢フィルム」は、「資料点数が膨大であること、写真資料をテキストとした学術的なリテラシーの手法が開発されていない」⁽¹⁾などの事情により、十分な活用が成されてこなかった。そこで本COE研究の一課題として、これらの写真資料を活用した景観の分析や時系列的の研究を実施することとなった⁽²⁾。このうち、南西諸島の奄美大島の写真67枚については、昨年度、人文地理学観点から現地調査を実施し、その成果は本『年報』第1号に報告されている⁽³⁾。

今年度の調査で対象とした「渋沢フィルム」は、朝鮮半島で撮影された、若しくは撮影されたと見られる235枚である。今回の現地調査においては、これら写真の中から、景観を主体としのもののみを選び出し、かつ撮影地が「里」まで記録されているものについて、撮影地の比定を行った。調査は決して十分なものではなかったが、2004年9月5日から12日までの7泊8日の日程で、ソウル・蔚山（ウルサン）・多島海の3地域を、各2泊3日の強行軍で概括的に現地確認を実施した。なお、蔚山の景観変容については、第3班の報告書において報告しているため⁽⁴⁾、本報告では、朝鮮半島西南部の多島海における、「渋沢フィルム」以後70年間の景観要素の変化等について、人文地理学的観点から分析を試みることにしたい。

I 「渋沢フィルム」の景観写真

1 景観写真の分析手法とその課題

景観写真は、たった1枚の写真であっても、これから読み取れる情報は実に多い。景観写真を1つの資料として捉えようとする場合、表面的なものに囚われることなく、その背後の構造をいかに読み込むことが可能かが大きな課題となる。

蔚山についての報告においても述べたが、景観変容を分析する上で、異なった時期に同じアングル

で撮影された写真をもとに、同一場所を比較することは必要不可欠である。景観分析を行う時に必要とされる具体的作業は、①景観の分布把握、②建物景観の分類、③景観の構成要素の把握、④景観要素間の機能把握、⑤建物の立地条件の把握を行い、⑥景観の時間的変化を見て行くことなどである。⁽⁵⁾ そのためには、景観の構成要素としての①自然的基盤、②建造物、③街路網、④土地割、⑤人の流動⁽⁶⁾などを押える必要がある。これらの諸資料が整った時、「景観を手法として説明に用いることは、土地利用やその時系列的変化を視覚に明瞭に訴えることができるため、きわめて有効である⁽⁶⁾」⁽⁶⁾と言えよう。しかし景観は、数々の要因から構成されており、景観解析のためには、不可視な部分について多角的観点から検討する必要があるが生じてくる。

昨年度の奄美大島での分析事例から、「渋沢フィルム」の景観写真は、フィルムそのものが有する景観に関する情報分析と、現在の写真との比較という2側面から分析が可能であることが明らかにされた。⁽⁷⁾しかし、「渋沢フィルム」の撮影地点の比定は、決して容易な作業ではなく、今回調査対象とした写真についても、撮影場所は「里」つまり村（若しくは「字」）レベルまで記録されているのがせいぜいで、甚だしくは「朝鮮」とのみ記されたものもある。この程度の情報より、撮影地点を現地で比定することは非常に困難が予想された。また、他の写真との比較や現地確認の結果、明らかに撮影場所が誤っていると見られるものも散見された。つまり、写真のキャプションをそのまま信用することは危険であり、一方で、この不備をどのように克服するかが課題でもあった。

また、渋沢敬三自身が民俗学者であるということから、「渋沢フィルム」の主題は景観よりも、むしろ暮らしや人物、民具・農具などに重きが置かれ、背後に写る風景や景観はかなり限定された範囲のものが多くを占めるため、撮影地点が特定出来るものは少なくなってくる。今回調査対象とした写真については、約3割が周囲の風景もしくは景観がほとんど読み取れない、人物や道具を主体とするものであった。

2 「渋沢フィルム」の朝鮮半島景観写真

朝鮮半島で撮影された「渋沢フィルム」は、アルバム12冊にわたり、対象となる巻数は、第55～66巻及び第120巻の計13冊である。多くの写真には撮影年代が記されていないが、第55巻に「昭和8年12月」（1933年）の記録が、第120巻には「昭和11年8月」（1936年）の記録があることから、概ねこの間に撮影されたものと推察される。

最も多い撮影地は、慶尚南道の蔚山邑達里で、第57巻・59～63巻・120巻の大半を占め、枚数は120枚にのぼる。第60巻のアルバムには、「慶尚南道蔚山邑達里」の記載があり、第120巻のアルバムは「朝鮮達里写真集」と題されている。資料点数から見ると、蔚山邑達里の景観調査が最も期待される場所であったが、蔚山の景観変貌はあまりに甚しく、撮影地点の確定は絶望的であった。蔚山は、この20年ほどの間に急速な都市開発が進み、渋沢らが訪れたかつての農村・蔚山邑達里が、現在の蔚山市南区達洞に当たることは確認出来たが、大規模な区画整理が実施され、今日では100万都市・蔚山の新都心ビル街へと変貌していた。⁽⁸⁾その現況については、別に報告しているのでそちらを参照されたい。

次いで多い撮影地は、全羅南道の多島海地域で、第58巻・63～66巻に計58枚が収められている。多島海で撮影されている島々は、上落月島・下落月島・荏子島・水島・前曾島・大許沙島・小許沙島・

扶南群島などである。一部の島は浅瀬が埋め立てられ、半東部と繋がったところもあるが、多くの島は、まだ都市開発のあおりを受けずに、かつての景観が比較的良好に保たれている。しかし、この地域は、便数の少ないフェリーや船舶によって渡らなければならないというハンデがあった。今回の調査では、時間的な問題もあり、このうちの一つ荏子島のみを渡り、現地確認を試みた。

このほかに、撮影地として確認されるのは、慶州、大同郡、京城府（ソウル）、木浦港などである。アルバムには、上記のような撮影場所のほか、撮影者や簡単な説明が付されているものもあり、キャプション情報と写真内容の概要は、第1表に見る通りである。⁽⁹⁾

この「渋沢フィルム」の撮影地点比定のためには、いくつかの段階を経て特定する必要があり、昨年度の調査結果では、①都市・集落といった比較的マクロなスケールでの場所の特定、②撮影対象となった場所における「固定点」の特定、③写真を撮影した撮影地点の特定、④撮影地点から撮影対象への方角の特定という4段階の作業をあげている。⁽¹⁰⁾ 今回の調査では、①の作業は、現地1:25,000地形図によって現在の集落名の確認を行い、②についても地形の起伏や目標物等を写真と地形図と照らし合わせながら検討した。③④の作業については、現地を歩きながら景観変化の少ない山並みや川の流れなど参考に特定していった。

第1表 渋沢フィルム朝鮮半島撮影分

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
55	SA1979	朝鮮	昭和8年12月	渋沢敏三	不明	—	牛を引く農民
55	SA1981	朝鮮	昭和8年12月	渋沢敏三	不明	—	人物集合写真
55	SA1983	朝鮮	昭和8年12月	渋沢敏三	不明		巨木と人物
55	SA1985	朝鮮	昭和8年12月	渋沢敏三	不明		農家庭先の人物と犬
56	SA1986	朝鮮			不明		並木道と人物
56	SA1987	朝鮮			不明		海岸の民家と山の斜面
56	SA1989	朝鮮			不明		町並み
56	SA1990	朝鮮			不明		町並み
56	SA1991	朝鮮			不明		町並み
56	SA1992	朝鮮			不明		町並み
56	SA1993	朝鮮			不明		東屋
56	SA1994	朝鮮			平壤市		川と橋、SA2265と同地点
56	SA1996	朝鮮			不明		建物と人物
56	SA1998	朝鮮			不明		民家路地と人物
56	SA1999	朝鮮			不明	—	人物4人
56	SA2000	朝鮮			ソウル市		建築中の建物
56	SA2003	朝鮮			ソウル市		建築中の建物
56	SA2004	朝鮮			不明		石造物と階段
56	SA2005	朝鮮			不明	—	牛と人
56	SA2006	朝鮮			不明		町並み
56	SA2007	朝鮮			不明		商店店先
56	SA2009	朝鮮			ソウル市景福宮		人物集合写真(9人)
56	SA2010	朝鮮			不明		町並み
56	SA2011	朝鮮			不明	—	医院玄関の人物
57	SA2013	蔚山	達里		蔚山市達洞		水田の小径を歩く人物
57	SA2014	蔚山	達里		蔚山市達洞		民家の大木
58	SA2018	朝鮮全羅南道多島海	前栽畑 to-gat 平安南道大同郡南申面 孝南里		南申面孝南里		畑と農民
58	SA2021	朝鮮全羅南道多島海	秘園の一部 京城府		ソウル市		東屋と人物
58	SA2022	朝鮮全羅南道多島海	秘園の一部 京城府		ソウル市		東屋

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
58	SA2023	朝鮮全羅南道多島海	青淵先生の碑前にて	京城府樊忠壇	ソウル市	—	人物4人
58	SA2024	朝鮮全羅南道多島海面鎮里	務安荏子面鎮里	写1(鎮里)	荏子面鎮里	○	水田と集落
58	SA2025	朝鮮全羅南道多島海洛月里	上洛月里	tansuan	落月面上落月里		大樹
58	SA2027	朝鮮全羅南道多島海面光山里	荏子面光山里		荏子面光山里	—	人物集合写真(10人)
59	SA2030	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物4人
59	SA2033	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物
59	SA2034	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物
59	SA2035	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物7人
59	SA2036	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物と樹木
59	SA2037	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		自転車と人物, 後方に民家
59	SA2038	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		人物(子ども)
59	SA2039	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物(子ども)6人
59	SA2041	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		道路と人物(女性)
59	SA2043	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		街路樹のある道路
59	SA2044	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑地の牛と人物
59	SA2045	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		車座になる人々
59	SA2048	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物
59	SA2051	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物(子を背負う女性)
59	SA2052	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物
59	SA2053	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		井戸と人物
59	SA2054	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		井戸と人物
59	SA2055	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		人物(女性)
59	SA2056	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		人物(頭に荷をのせる)
59	SA2057	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		人物(頭に荷をのせる)
59	SA2059	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		農家の庭先と人物
59	SA2060	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑作風景
59	SA2061	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑作風景
59	SA2062	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		街路樹のある道路
59	SA2063	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		街路樹のある道路を歩く人
59	SA2064	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		街路樹のある道路を歩く人
59	SA2065	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		耕地の道を歩く人
60	SA2067	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	カゴ
60	SA2068	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	木の道具
60	SA2069	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	カゴ
60	SA2072	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	ショイコ
60	SA2083	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	タイコを持つ人物
60	SA2084	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	タイコを持つ人物
60	SA2085	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	ドラを持つ人物
60	SA2086	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	ドラを持つ人物
60	SA2087	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		テンピンを持つ人物
60	SA2088	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑と人物
60	SA2089	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		ショイコを背負う人物
60	SA2090	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		カゴを持つ女性
60	SA2093	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		広場と畑地
60	SA2094	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		広場のカマス
60	SA2095	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		井戸と人物
60	SA2096	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑地
60	SA2100	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		民家の庭の人々
61	SA2104	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物2人

卷数	写真 番号	キャプション			撮影地点		備 考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
61	SA2105	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		瓦葺の民家
61	SA2106	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		葦葺き民家
61	SA2108	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内	—	女性2人
61	SA2111	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		庭先の女性
61	SA2112	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		水田の小径
61	SA2113	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		水田の小径
61	SA2114	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		蔚山洋靴店前の市場
61	SA2115	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		吉留金物店前の市場
61	SA2116	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内	—	市場の商人
61	SA2117	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		吉留金物店前の市場の商人
61	SA2118	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		道路の上に置かれた瓶
61	SA2119	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内	—	市場の商人
61	SA2120	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		町並み
61	SA2121	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		ショイコを背負う人と建物
61	SA2122	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		SA2121 とほぼ同地点
61	SA2123	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内		SA2122 とほぼ同地点
61	SA2125	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			蔚山市内	—	薬店の店先
61	SA2126	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		葦葺き民家群
61	SA2127	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		葦葺き民家群
61	SA2128	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		葦葺き民家群
61	SA2129	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		洗場
61	SA2130	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		洗たくの様子
61	SA2131	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明	—	ショイコ
61	SA2132	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明	—	人物4人
61	SA2133	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			不明		町並みと市場
61	SA2134	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			太和江河口部		蔚山湾と山並み
61	SA2135	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			太和江河口部		蔚山湾と小舟
61	SA2136	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			太和江河口部	○	小山と川の小舟
61	SA2137	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			太和江河口部		港と小舟
61	SA2138	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵營, 慶州			太和江河口部		漁港と山
61	SA2139	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞	—	地籍図

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
61	SA2140	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞	—	地籍図
61	SA2141	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞	—	地籍図
61	SA2142	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞	—	地籍図
61	SA2143	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞	—	地籍図
62	SA2146	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	Tsige		蔚山市達洞	—	荷を背負う人物
62	SA2147	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	大豆畑の除草 Homagnat を使用している 人物は朴客文氏、祭堂の東の大豆畑にて		蔚山市達洞		
62	SA2148	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	張命俊 (54) 氏の家		蔚山市達洞		
62	SA2149	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)			蔚山市達洞		土手で休む人々 (昼食)
62	SA2150	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	聚落の内部		蔚山市達洞		屋敷畑
62	SA2151	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	麦の篩分け		蔚山市達洞		広場とカマス
62	SA2152	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	麦の篩分け		蔚山市達洞		
62	SA2154	朝鮮旅行写真 (蔚山邑達里)	東方から見た洞舎		蔚山市達洞		
63	SA2156	朝鮮・兵庫	金剛丸 木浦帰落 日ヲ浴ビテ	秋葉	木浦湊		港の船
63	SA2157	朝鮮・兵庫		秋葉	荏子面水島沖	—	船上の2人
63	SA2158	朝鮮・兵庫	水島眺メ入ル	秋葉	荏子面水島沖	△	船上から見た島
63	SA2159	朝鮮・兵庫	荏子島下中里	秋葉	荏子面		広場での農作業
63	SA2160	朝鮮・兵庫	鎮里 ポルマダン	秋葉	荏子面鎮里	△	畑地と山
63	SA2161	朝鮮・兵庫	前會島羽田里	秋葉	會島面羽田里		水田と集落
63	SA2162	朝鮮・兵庫	鎮里 亭子木 堂山木 堂	秋葉	荏子面鎮里	△	大樹
63	SA2163	朝鮮・兵庫	□洛月里 堂山木、蔭ヨリ□□を臨ム	秋葉	落月面		大樹と女性
63	SA2164	朝鮮・兵庫	荏子島波市 (□□島ヲ臨ム)	秋葉	荏子面		集落と島
63	SA2165	朝鮮・兵庫	鎮里 長木生	秋葉	荏子面鎮里	○	木と人物, SA 2168 の拡大
63	SA2168	朝鮮・兵庫		秋葉	荏子面鎮里	○	水田と人物2人
64	SA2181	朝鮮			不明		頭に荷をのせ歩く女性
64	SA2182	朝鮮	鎮里		荏子面鎮里	○	水田と集落
64	SA2183	朝鮮	上洛月		落月面上落月里	—	洗い物をする女性
64	SA2184	朝鮮	全羅南道扶南群島附近、ニベを捕る漁船		荏子面扶南群島	—	船に乗る男性3人
64	SA2185	朝鮮	全羅南道務安群荏子面下中里, pul-ma-dong で働ける女		荏子面	—	農作業をする女性
64	SA2187	朝鮮	嘘砂島 (許沙島), 全島の男		荏子面大・小許沙島	—	人物2人
64	SA2188	朝鮮	嘘砂島 (許沙島), 全島の女兒		荏子面大・小許沙島	—	子を背負う女性
64	SA2189	朝鮮	嘘砂島 (許沙島), 全島部落の全景		荏子面大・小許沙島		
64	SA2190	朝鮮	全羅南道靈光郡落月面下落月里, パーチゲを負へる男		落月面下落月里	—	
64	SA2193	朝鮮	全羅南道靈光郡落月面下落月里, 船大工と其の道具		落月面下落月里	—	
64	SA2194	朝鮮	全羅南道靈光郡落月面下落月里, 働く女		落月面下落月里	—	
64	SA2195	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面鎮里, パーチゲ pa-chi-ge		荏子面鎮里	—	
64	SA2196	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面鎮里, チゲを負へる子供		荏子面鎮里	—	

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
64	SA2197	朝鮮	全羅南道靈光郡落月面上落月里，部落の前景の一部		落月面上落月里		
64	SA2199	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面水島里，前曾島の集落と耕地		曾島面羽田里		
64	SA2200	朝鮮	前曾島の集落と山上の松		曾島面羽田里		
64	SA2201	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面下手里附近，Pashi（波市）		荏子面		港の集落
64	SA2203	朝鮮	集落内部（落月面下落月里）		落月面下落月里		
64	SA2204	朝鮮	上落月島の遠望其二		落月面下落月里		
64	SA2205	朝鮮	上落月島の遠望其一，同島東南の海上より望見		落月面下落月里		
64	SA2206	朝鮮	水島の Kanshemi（荏子面水島里）		荏子面水島里		井戸と集落
64	SA2207	朝鮮	石堤（Dota）と渡船（Dobksan）（荏子面鎮里）		荏子面鎮里	△	
64	SA2208	朝鮮	石堤（Dota）と渡船（Dobksan）（荏子面鎮里）		荏子面鎮里	△	
64	SA2209	朝鮮	務安郡荏子面光山里		荏子面光山里		大樹の前で農作業
64	SA2212	朝鮮	下落月里		落月面下落月里		石堤と大樹
64	SA2213	朝鮮	下落月里 鄭洛焼方		落月面下落月里		民家の庭先
64	SA2215	朝鮮	下落月里		落月面上落月里		漁船
64	SA2218	朝鮮	荏子面水島		荏子面水島里		船上からの水島
64	SA2220	朝鮮	鎮里		荏子面鎮里		畑地の大樹
64	SA2221	朝鮮	上落月里	秋葉	落月面上落月里		漁船と集落
64	SA2223	朝鮮			不明		民家
64	SA2224	朝鮮			蔚山市達洞		土手で休む人々（昼食）SA2149に同じ
64	SA2225	朝鮮			不明		人物
64	SA2226	朝鮮			不明		民家
64	SA2227	朝鮮			不明		ショイコと人物
64	SA2228	朝鮮			不明		牛3頭
64	SA2229	朝鮮			不明		民家
64	SA2232	朝鮮			蔚山市達洞		屋敷畑 SA2150に同じ
64	SA2233	朝鮮			蔚山市達洞		畑地と集落
64	SA2237	朝鮮			蔚山市達洞		畑と民家
64	SA2241	朝鮮			不明		民家
64	SA2242	朝鮮			不明		昼食をとる農民
64	SA2243	朝鮮			不明		民家
64	SA2244	朝鮮			不明		畑地と林
65	SA2252	朝鮮旅行写真（蔚山邑達里，慶州，多島海）	内地人の蔬菜栽培		蔚山市達洞		
65	SA2253	朝鮮旅行写真（蔚山邑達里，慶州，多島海）			蔚山市達洞	—	人物
65	SA2256	朝鮮旅行写真（蔚山邑達里，慶州，多島海）	仏国寺裏山より慶州市附近を見る 其一		慶州市仏国寺		
65	SA2257	朝鮮旅行写真（蔚山邑達里，慶州，多島海）	仏国寺裏山より慶州市附近を見る 其二		慶州市仏国寺		
66	SA2258	朝鮮旅行写真（多島海，平壤，京城）			不明		料理屋前の子ども3人
66	SA2259	朝鮮旅行写真（多島海，平壤，京城）			不明		海と船
66	SA2260	朝鮮旅行写真（多島海，平壤，京城）			不明	—	テンピンをかつぐ人物
66	SA2261	朝鮮旅行写真（多島海，平壤，京城）	全羅南道務安郡荏子面光山里，波市の料理店		荏子面鎮里		

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
66	SA2262	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)			不明		家々と人々
66	SA2263	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	荏子島波市 pa-si の全景		荏子面		
66	SA2264	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	平壤市街, 百貨店和信屋上より北東方を見る		平壤市		
66	SA2265	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	平壤にて		平壤市		川と橋
66	SA2266	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)					河原
66	SA2267	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	大同江		大同江		川と小舟
66	SA2268	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	大同江の薪舟		大同江		
66	SA2269	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	楽浪にて			—	人物6人, 記念碑の前
66	SA2270	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	楽浪準平原上の耕地				
66	SA2271	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	孝南里の村		南申面孝南里		民家
66	SA2272	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	孝南里の村の前栽畑		南申面孝南里		
66	SA2273	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	孝南里の家		南申面孝南里		瓦葺の民家
66	SA2274	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	孝南里の家		南申面孝南里		家の入口
66	SA2275	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)	朝鮮総督府の広口		ソウル市景福宮	○	
66	SA2276	朝鮮旅行写真(多島海, 平壤, 京城)			ソウル市景福宮		人物集合写真(9人) SA2009と同じ
120	SA3845	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物3人
120	SA3846	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物
120	SA3847	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	木陰の子ども達
120	SA3848	朝鮮達里写真集	昭和11年8月		蔚山市達洞	—	傘をさす子ども達
120	SA3850	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 牛をつけた Tolban		蔚山市達洞		石臼と牛
120	SA3858	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 昼飯, 所謂 pumasi に出で居る		蔚山市達洞		SA2224と同じ
120	SA3859	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		広場と人々
120	SA3860	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		畑の牛耕
120	SA3861	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		風選
120	SA3862	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 Toksigi をしき, 俵から出した麦をエブリで拡げる		蔚山市達洞		モミ広げ
120	SA3866	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		麦干し
120	SA3867	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 大豆畑の除草		蔚山市達洞		
120	SA3868	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	テンピンをかつぐ男性
120	SA3869	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	鋤の耕作
120	SA3870	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		動力脱穀機
120	SA3873	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物2人(男性)
120	SA3875	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物2人(女性)

巻数	写真番号	キャプション			撮影地点		備考
		場所	記載	撮影者	地点名	特定	
120	SA3877	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物2人(女性)
120	SA3878	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物(子ども)
120	SA3879	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	—	人物(子ども)
120	SA3880	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		井戸と子ども
120	SA3881	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞		川で洗う女性
120	SA3883	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 全羅南道務安郡智島面 羽田里 前會島, 集落の製塩所の一部		會島面羽田里		
120	SA3885	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里の madang 其一 東方より西南		蔚山市達洞	○	広場と麦山
120	SA3886	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里の madang 其二 西		蔚山市達洞	○	広場
120	SA3887	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里の madang 其三 北西		蔚山市達洞	○	広場と農家
120	SA3888	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里の madang 其四 北		蔚山市達洞	○	畑と洞舎
120	SA3889	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里の madang 其五 madang より北東方を見る		蔚山市達洞	○	畑と山
120	SA3890	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		耕地と集落
120	SA3891	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		耕地
120	SA3892	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		水田
120	SA3893	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		水田
120	SA3895	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		草葺民家
120	SA3897	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 全羅南道務安郡智島面 羽田里 前會島水田の除草, 男女で除草して居った		會島面羽田里		水田
120	SA3898	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		耕地と集落
120	SA3899	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 前會		會島面		海岸を歩く

撮影地点の特定
○：撮影地点が厳密に特定された写真 △：撮影地点がおおむね特定された写真 無印：今回未調査
×：撮影地点不明 —：景観写真ではないもの

II 多島海の景観変化

1 多島海の景観と土地利用

多島海は、朝鮮半島南西部に位置する全羅南道の西海岸約 300 km にわたって広がる、大小約 1700 の島々から成る地域である。この地域は、海と島の美しい景観と自然生態を保護するために、1981 年に「多島海海上国立公園」に指定されている。現在は、海岸に沿って定期客船の運行もあり、多島海全体では年間の観光客は 100 万人⁽¹¹⁾にのぼる。

今回の調査では、すべての島々を回ることは不可能であることから、フェリーの発着がある比較的渡りやすい島を訪れることとした。現在、智島(Jido)までは陸続きとなっていて道路が整備されており、ここから荏子島(Imjado)行きのフェリーが1時間おきに発着していることから、今回は荏子島を目指すこととした(写真1)。なお当日は、残念ながら土砂降りの雨に見舞われ、景観写真の撮影には厳しい状況であった。

智島からフェリーで荏子島の鎮里港までは、水島を右手に眺めながら約 20 分の行程である。智島から水島を経て荏子島までは、70 年前の 1930 年代に渋沢敬三らも渡ったルートである。現在は、こ

こ多島海の島々を送電線の鉄塔が繋いでいる（写真2）。写真2は、フェリー上から撮影した水島南方の小島の鉄塔である。渋沢らが訪れた水島にも、現在はこのような送電線が渡され、智島と荏子島の橋渡しとなる鉄塔が立っている。しかし、これらの鉄塔は国防上の理由からか、現地の1:25,000地形図にも記されていない。

荏子島は、これといった観光地でもない島であるため、今日も外国人が島に渡ることはまずない。このため、島にはホテルや観光施設がないばかりか、鎮里港周辺でも売店があるのみで土産物店さえない。ただ、鎮里港から北西方5kmほどの海岸に「大光海水浴場」があり、夏場はフェリー利用して半島から多数の海水浴客が訪れ、港の近くには来島者を歓迎するアーチも設置されていた（写真3）。今回訪れた9月は、観光シーズンではなかったため、車はそう多くはなかったが、夏の海水浴シーズンはフェリー乗り場には乗用車が列を成すようである。渋沢らが訪れた昭和初期には、半島から車で海水浴客がやって来ることなど、想像もしなかったであろう。今日では、島内の主要集落を結ぶ道路は、自動車通行が可能な程度に舗装整備されていて、物資の輸送トラックのほか、タンクローリー車もフェリーで渡って来ている（写真4）。

現在の鎮里港には、事務所や売店などの施設がある。また、鎮里港から鎮里集落に至る海辺の道路沿いには、電柱と倉庫や商店が立ち並び、昭和初期には見られなかった、鉄骨やプレハブの建築物も見られ（写真5）、鎮里集落には小さいながらもスーパーマーケットが1件営業している。鎮里港は、鎮里集落の東方約1kmのところであり、港と集落の間は2車線の舗装道路で結ばれている（写真6）。さらに、鎮里港西方約1.5kmには、浅瀬を利用して開かれた塩田（長浦塩田）があり（写真7）、この北方にも同様の広大な塩田（大光塩田・三光塩田）が開かれている。さらに、塩田周辺の低地に水



写真1 船上から見た荏子島（2004.9.11筆者撮影）



写真2 多島海の送電線（2004.9.11筆者撮影）



写真3 鎮里港の歓迎アーチ（2004.9.11筆者撮影）



写真4 鎮里港へ到着したフェリー（2004.9.11筆者撮影）



写真5 鎮里集落の遠景 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真6 鎮里港から伸びる道路 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真7 長浦塩田 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真8 荇子島中央部の畑地 (2004. 9. 11 筆者撮影)

田が開かれているほか、微高地の畑地にはニンニク等の根菜類が一面に栽培されており (写真8), このような離島にも, 商品作物生産の波が押し寄せているという現実を目にした. こうした土地利用・景観は, 渋沢らが訪れた昭和初期には無かったものと考えられる.

2 多島海の景観構成とその変容

昭和初期の多島海の景観を示す写真の1枚に写真9がある. 「渋沢フィルム」の記録には, 「下落月里」(下落月島) とあるが, 中央に見える大樹の樹形は, 荇子島鎮里にあった大樹と酷似していた. 写真10の大樹は, 荇子島鎮里にある荇子面事務所 (町役場に当たる施設) の駐車場脇に立っているものである. また, 写真9を見ると, 昭和初期の海辺には石垣が生まれ, その後方に民家が見える. こうした石垣は, 現在の鎮里港でも目にする事ができ, 堤防として築かれている (写真11). 多島海周辺は, 遠浅の浅瀬が広がるが, 現在, 港の部分は浚渫されフェリーの発着を可能としている (写真12). しかし, 港の奥は, かつての景観同様に, 今日でも浅瀬となっている (写真13). このように, 景観を構成するパーツを見て行くと, 昭和初期の面影を残す部分と, この70年余りの間に変わった部分が混在していることがかる.

また, 昭和初期の島の港と集落の様子を示す写真の1枚に写真14がある. 「渋沢フィルム」の記録には, 「荇子島光山里 波市からの全景」とある. 「波市 (pashi)」とは, 「漁場に従って移動する特殊な集落. 料理店, 雑貨店, 湯屋までを含んでいる」との説明があり, 海沿いに建てられたバラック風の建物である様子が窺える. 光山里は, 荇子島の東岸に位置する鎮里とは6 kmほど離れた, 島の対岸 (西岸) に位置する集落である. 写真14の地点を特定することはできなかったが, 光山里は現



写真9 多島海「下落月里」(日本常民文化研究所所蔵:SA2212)



写真10 荏子面事務所の大樹(2004.9.11筆者撮影)



写真11 鎮里港の防波堤石積み(2004.9.11筆者撮影)



写真12 鎮里の港(2004.9.11筆者撮影)



写真13 鎮里港付近の浅瀬(2004.9.11筆者撮影)



写真 14 荏子島「波市」(日本常民文化研究所所蔵：SA2263)



写真 15 光山里の漁港 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真 16 光山里漁港の漁船 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真 17 光山里の農家 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真 18 光山里の耕地 (2004. 9. 11 筆者撮影)

在も漁村として存在し、漁村としての風景を目にすることができる（写真 15）。パーツごとに見て行くと、もはや「波市」は存在しないが、現在の集落には木造の建物のほかにコンクリート製の建物も見える。また、新しい景観要素としては、コンクリート製の岸壁、電柱・電線なども見える。ともに浜に漁船が見えるが、昭和初期は木造であったものが、現在は金属製へと変わっている（写真 16）。

「渋沢フィルム」には、昭和初期の光山里の農作業風景も記録されているが、当時は、人力による農作業で、自給的作物生産が中心であった。今回の調査では、光山里港の裏山側の集落において、農家や耕地などを目にすることができた。現在の農家の多くは、トタン葺きではあるが、屋根が反っている伝統的な韓式住宅で、家の周囲は石積みによる石垣で囲われている。また、集落の中央部には、アスファルトで舗装された円形の広場があり、その一部には駐車場としての区画が設けられ、耕耘機やトラクター、トラックなどが止められていた（写真 17）。耕地に目を向けると、低地は水田となっているが、微耕地は畑となっていて、ニンニク等の根菜類の栽培が盛んに行われていた（写真 18）。今日では、このような島部においても、農業の機械化が進み、作物栽培も半島の都市部への供給を目的とした商品作物生産へと変わっている様子を窺うことができる。光山里においても鎮里同様、かつての景観の面影を残しながらも、近代的な生産活動や経済生活に組み込まれ、その一端が景観に反映している様子が理解される。

3 多島海における 70 年間の景観変化

今回の調査では、厳しいながらも、多島海の何地点かにおいて、「渋沢フィルム」の撮影地点の確認を行うことができた。写真 19 は、渋沢らが昭和初期に多島海を訪れた時、智島と荏子島の間位置する小島「水島」を船上から撮影したものである。中央に聳えるのは標高 150 m ほどの山で、この山をポイントとして撮影地点を地形図から求めると、島の南方海上から撮影したものと見られる。現在も、基本的には地形的に変化は無く、山型は当時のままである（写真 20）。残念ながら船のルートが異なるため、今回は、海上から全く同じ位置・方角から撮影することはできなかった。景観上の変化を見ると、昭和初期には無かった大きな鉄塔が島の中央部に見える。この鉄塔は、半島の智島と荏子島とを結ぶ送電線を中継するものである。渋沢らは、昭和初期に水島に降り立っているが、島の南側にある集落（水島里）の近くには、現在も伝統的な石積みで造られた港が見える。また、海岸沿いには、防潮堤が築かれ、近年、防災対策が施されている様子が窺えた。このように見ると、島自体は、とくに地形的変化が見られないため、景観上の変化はそう大きく見えないが、鉄塔や防潮堤に見るように、部分的に現代技術を駆使した建造物が島部にも及んでいることが窺える。

写真 21 は、渋沢らが撮影した昭和初期の荏子島鎮里の浅瀬の様子の写真である。「渋沢フィルム」の記録には、「石堤（Dote）と渡船（Dobksen）」とあり、海岸部に石積みの堤防が見られ、渡船に乗る人が写っている。また、後方の傾斜地には畑地が開かれている。この写真は、鎮里港から鎮里集落方向に 200 m ほど進んだ地点から、南西方向に向かって撮影されたもので、現在もこの浅瀬は残る。当時は対岸へ船で渡ったようであるが、現在はこの地点から西方 800 m ほど地点に橋が設けられ、対岸へは自動車の通行が可能となっている。しかし、今日も堤防には石積みが使用されており、傾斜地には畑地が広がる（写真 22）。一見、大きく景観が変わっているようには見えないが、手前、対岸ともに自動車通行が可能な道路が整備され、渡船はなくなって橋が架けられ、対岸の島に電柱が



写真 19 船上から見た水島（日本常民文化研究所所蔵：SA2218）



写真 20 船上から見た水島（2004. 9. 11 筆者撮影）



写真 21 鎮里「石堤と渡船」(日本常民文化研究所蔵: SA2208)



写真 22 鎮里の石堤と浅瀬 (2004. 9. 11 筆者撮影)



写真 23 鎮里の集落と水田（日本常民文化研究所所蔵：SA2024）



写真 24 鎮里の集落と水田（2004. 9. 11 筆者撮影）



写真 25 鎮里の水田（日本常民文化研究所所蔵：SA2182）



写真 26 鎮里の水田（2004. 9. 11 筆者撮影）

見えることから電気が敷設されていることも窺え、地域の生活基盤の整備が進んでいる様子がわかる。

写真 23 は、渋沢らが撮影した昭和初期の荏子島鎮里の集落と水田の様子である。写真手前の低地は水田となっていて、集落と畑地が奥に見える。民家のほとんどは草葺き屋根となっていて、丘陵状の山腹後方にまで畑地が広がっているが、最上部には一部、林が残っている。この写真は、鎮里集落の南方約 250 m の地点から北に向かって撮影されたもので、現在も、基本的景観は大きく変わっていない（写真 24）。現在は低地の一部に畑があり、手前にはトウモロコシ畑も見えるが、その他の部分はそのまま水田となっている。後方の山腹には今日も畑地が広がり、木々も見える。しかし建物は、鎮里集落の中央部に、昭和初期にはなかったキリスト教会の大きな建物が建ち、民家の屋根は瓦葺き屋根へと変化している。また、電柱と電線の風景も昭和初期にはなかったものである。写真の範囲にはないが、この撮影地点の左手 100 m には、スーパーマーケットが営業している。基本的景観構成は変わらないものの、解放後の新たな宗教施設、草葺きから瓦葺き屋根への変化、電気の敷設など、文化や生活は明らかに変化している様子が窺える。

写真 25 は、写真 23 とほぼ同位置から撮影されたものであるが、やや角度が異なり北東方向を向いている。後方に小山が見えるが標高は 50 m ほどで、中腹には畑地が広がっている。その下に鎮里集落の家々が立ち並び、手前の低地には水田が広がっている。現在の景観（写真 26）は、写真 24 と同様の変化が見られるものの、基本的にはほとんど変わっていない。

荏子島は島部がゆえに、蔚山のような大きな景観変貌は遂げてはいないが、昔の景観残しつつ、景観の各パーツを検証してみると、確実に変わり行く姿を読み取ることができると言えよう。

おわりに

本報告では、まず地理学の立場における景観研究について検討した上で、変容が比較的緩やかと思われる朝鮮半島多島海の荏子島を事例に、「渋沢フィルム」以後70年間の景観の構成要素の変化について、パーツ分けしつつ比較検討を試みた。具体的には、「渋沢フィルム」そのものが持つ景観要素に関する情報を読み取り、現在の同地域の景観からその要素の残存部分や追加された要素を見いだし、比較検討するという形で実施した。その結果、「渋沢フィルム」以後70年間の景観変容は、別に報告している蔚山⁽¹²⁾ではあまりに大き過ぎ、これは「景観変貌」と呼ぶに相応しいが、景観の不連続性の中にも残存する構成要素があるということを確認することが出来た。一方、多島海の荏子島においては、景観に連続性が認められるものの、景観要素に少しずつ変化が見られ、全体としては景観が変化していることを確認することが出来た。一つの見方として「渋沢フィルム」は、景観の連続性や不連続性を検証する上で極めて有効な資料と言えよう。

地理学における伝統的景観論では、景観や土地利用は、可視的・具体的事物を対象としていることから、即物的で非科学的であるという批判を浴びることが多かった。今日、土地利用研究については、数値情報の充実によって、コンピュータによるデータ処理が可能となり、数値分析を行うことが出来るようになったという意味においては、科学的になったと言えよう。しかし、その一方で、伝統的に可視的・具体的事物を対象としている景観研究が、相変わらず即物的で非科学的であると言い切れるであろうか。むしろ景観は、「多様な人間の営為の可視的な表現であり、そうした営為（文化）に接近するための最も物質的な手かかりとなる⁽¹³⁾」のではないだろうか。「渋沢フィルム」は、そのための大きな手掛りを与えてくれているのではないだろうか。そのためにも、景観（写真）の客観的分析手法の開発は急がなくてはならない課題である。

謝 辞

調査にあたりお世話になったチョン・ミエ氏をはじめとする現地の方々並びに、本稿作成にあたりご教示を頂いた八久保厚志（神奈川大学助教授）・須山聡（駒沢大学助教授）の両氏及び、写真データの整理にご協力頂いた藤永豪（神奈川大学 COE 研究員・PD）・松岡美根子（駒沢大学大学院生）の両氏、さらに「渋沢フィルム」の利用にあたりご配慮頂いた窪田涼子氏をはじめとする日本常民文化研究所の皆様は厚くお礼を申し上げます次第である。

注

- (1) 八久保厚志・須山聡、2004「渋沢フィルムの図像解析とその応用」『年報 人類文化研究のための非文字資料研究の体系化』1, 神奈川大学 21 世紀 COE プログラム研究推進会議, p. 109.
- (2) 香月洋一郎、2003「環境と景観の資料化と体系化」『非文字資料研究』1, 神奈川大学 21 世紀 COE プログラム研究推進会議, pp. 11-12.
- (3) 文献 (1), pp. 105-125.
- (4) 浜田弘明・八久保厚志、2004「写真資料と景観変容——渋沢フィルムの分析に向けて——」『神奈川大学 21 世紀 COE プログラム調査研究資料 1 環境と景観の資料化と体系化にむけて（仮題）』神奈川大学 21 世紀 COE プログラム研究推進会議（現在この報告書は制作中のためページ数は未定）。

- (5) 田中欣治, 1994『新訂 教養の地理学』大明堂, pp. 88-92.
- (6) 高橋伸夫, 1988「都市での野外観察」『地理学への招待』古今書院, pp. 150-158.
- (7) 文献 (1), p. 125.
- (8) 文献 (4).
- (9) ただし, かなり長い解説もあり, ここではスペースの都合で一部省略したものもある.
- (10) 文献 (1), p. 111.
- (11) 国立公園管理公団『韓国の国立公園』(リーフレット).
- (12) 文献 (4).
- (13) 島津俊之, 1992「可視的世界からの接近」愛知大学総合郷土研究所編『景観から地域像を読む』名著出版, p. 157.